

2022年度 全日本学生柔道優勝大会（男子71回 女子31回）大会要項案 4/26

1. 大会名 2022年度 全日本学生柔道優勝大会（男子71回 女子31回）
2. 主催 （一社）全日本学生柔道連盟、毎日新聞社
3. 主管 東京学生柔道連盟
4. 後援 スポーツ庁、東京都（申請中）、（公財）日本武道館、（公財）講道館、（公財）全日本柔道連盟、（公財）東京都柔道連盟
5. 期間 2022年6月25日（土） 女子5人制・女子3人制…1回戦～決勝戦 男子…1回戦まで（女子終了後開催）
開場：午前8時00分 開会式：午前9時00分 女子試合開始：午前9時10分 男子試合開始：午後3時30分
2022年6月26日（日） 男子…2回戦～決勝戦
開場：午前8時00分 試合開始：午前9時00分
6. 会場 日本武道館 東京都千代田区北の丸公園2-3
7. 競技規則
 - (1) 参加資格
 - ①（一社）全日本学生柔道連盟の法人正会員たる柔道部の在籍者であり、かつ、（公財）全日本柔道連盟に登録した者。
 - ②国公立大学又は短期大学などに在籍の学生。
 - ③各地区学生柔道連盟から推薦された大学。
 - ④在学中、実業団その他の職域チームに属している者は、その大会（試合）に出場していない者。
 - ⑤本大会への選手登録回数が今年度を含め4回以下の者。但し、医学部、歯学部、薬学部、獣医学部の学生は今年度を含め6回以下の者。
 - ⑥2年次においては1年次の修得単位が20単位以上の者。3年次においては1年次及び2年次の総修得単位が50単位以上の者。4年次においては1年次、2年次及び3年次の総取得単位が70単位以上の者。但し、特例措置対象者を除く。（別紙参照）
 - (2) チーム編成
 - ①男子：各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と、選手12名の計16名以内とする。
 - ②女子：5人制は、各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と選手57kg以下3名、70kg以下3名（57kg以下申し込み可）、無差別2名の計12名以内とする。3人制は、各大学1チームとし、部長、監督、コーチ、主務各1名と選手6名の計10名以内とする。
 - (3) 指導者資格
選手席に帯同する部長・監督・コーチいずれかの者は、（公財）全日本柔道連盟公認指導者資格のA指導員資格もしくはB指導員資格を有していなければならない。また、選手席に帯同する部長・監督・コーチいずれかの者は、昨年度実施した本連盟の指導者研修を受講していなければならない。
 - (4) 試合方法
 - ①男子：試合は各チーム7名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
 - ②女子5人制：5名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手の配列については、先鋒・次鋒は57kg以下、中堅・副将は70kg以下、大将は無差別とし、その各カテゴリー内での選手選出は自由とする。
 - ③女子3人制：3名の点取り式によるトーナメント戦とし、各試合の選手選出・配列は自由とする。
 - ④男子及び女子の1回戦のオーダーは6月24日（金）18時までに所定の手続きにてオーダーを提出する。
また、男子2回戦のオーダーは6月26日（日）の8時までに提出する。
女子2回戦、男子3回戦以降は対戦大学決定後7分以内に提出する。7分経過後は自動的に前回戦のオーダーとなる。
 - (5) 審判規定
 - ①（公財）全日本柔道連盟の定める国際柔道連盟試合審判規定の団体戦の勝敗決定方法を準用する。
なお、試合運営上、審判員は4審制（ジュリーを含む）とする。
 - ②判定基準は、「技あり」以上、または「反則負け」とする。
 - ③勝敗の決定は、勝者の多い方を勝ちとする。また、勝者同数の場合は、内容差で決定する。前述の全てにおいて同一の場合は、次のとおりとする。
男子及び女子3人制は、各大学1名の代表選手を選出し、4分間の代表戦を行う。4分間で勝敗が決しない場合は、ゴールデンスコアにより勝敗を決する。
また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度他の代表選手を選出し、代表戦を行う。
女子5人制は、「引き分け」の階級の中から抽選で代表選手を選出し、ゴールデンスコアにより代表戦を行う。
また、上記代表戦において両者反則負け等で勝敗がつかなかった場合は、再度抽選により他の階級から代表選手を選出する。
なお、引き分けの階級がない場合は、両者反則負け等で勝敗が決していない階級の中から代表選手を選出する。

※上記代表戦は、スコアをリセットして行う。

(6) 柔道衣

本大会で着用する柔道衣は、(公財) 全日本柔道連盟の柔道衣規定に合格した柔道衣(上衣、下穿、帯)とする。

(別紙参照) なお、柔道衣の規格については、厳守しなければならない。

※本大会は、「青柔道衣」を採用する。また女子の帯は白線なしの黒帯とする。(別紙参照)

(7) ゼッケン

本大会に出場する選手は、必ず所定のゼッケンを柔道衣につけること。(別紙参照)

<男子> 本大会の総出場大学数は62大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	19	4	8	4	5	62

<女子> 本大会の総出場大学数は62大学とし、各地区の出場大学数は次の通りとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	12	13	5	8	6	6	62

※上記の各地区出場大学数は5人制、3人制のトータル数とし、その出場数の配分は各地区学生柔道連盟にて決定する。

女子5人制出場大学の先鋒・次鋒・中堅・副将の出場選手は、試合前日に計量を行う。

日時: 2022年6月24日(金) 予備計量 午後3時30分~午後4時00分 本計量 午後4時00分~午後4時30分

会場: 講道館第4会議室

採用試験における計量時間の延長について

原則として、採用試験等において正規の公式計量の時刻に間に合わない場合、6月5日(日)までに主管事務局まで必要書類を提出することにより、計量時間の延長(1時間)が認められる。

※必要書類とは、採用試験を実施する機関からの通知文のコピー等をいう。

表彰式については優勝大学、準優勝大学のみを対象としておこなう。

<男子> (1) 優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)、並びにベスト8大学を表彰する。

(2) 優勝大学には「文部科学大臣賞」並びに「日本武道館賞」を授与する。

(3) 技術優秀なる選手10名に「優秀選手賞」を授与する。

<女子> (1) 5人制・3人制ともに、優勝大学、準優勝大学、第3位大学(2大学)並びにベスト8を表彰する。

(2) 5人制・3人制ともに、技術優秀なる選手10名に「優秀選手賞」を授与する。

優秀選手選考委員は、各地区の学生柔道連盟より1名を選出する(原則として(一社)全日本学生柔道連盟理事とする)。

審判員数の総数は59名とし、各地区の学生柔道連盟は下記人数の審判員を帯同することとする。

[(公財)全日本柔道連盟派遣審判員6名以内(審判長含む)、東京19名、関東12名、関西10名、北信越3名、北海道・東北、東海、中四国、九州は各2名]

(1) 申し込み先

〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階 全日本学生柔道連盟内 東京学生柔道連盟

TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960

(2) 申し込み方法

参加申し込み責任者は各大学監督とし、WEBにて申し込みを行うこと。

また、各地区学生柔道連盟は、下記の書類をまとめて主管事務局へ郵送すること。

①参加選手の在学証明書・健康診断書(地区予選に登録されなかった選手のみ)

※但し、本年度においては1年生のみ在学証明書の提出を行うこと。

②プログラム掲載用写真(別紙参照)

③IDカード(別紙参照)

(3) 申し込み期間

WEB申し込み期間 2022年5月30日(月)~6月1日(水) 書類郵送期日 2022年6月3日(金)午後5時必着

(4) 参加費

男子 - 1大学60,000円(選手分のプログラムを含)

女子 - 5人制出場大学:1大学40,000円、3人制出場大学:1大学30,000円(選手分のプログラムを含)

※各地区学生柔道連盟がその地区出場大学の参加費を取りまとめ、6月1日(水)正午までに下記口座へ振り込むこと。参加費の振り込みが確認できない場合は、本大会への出場を認めない。

参加費は各地区連盟の指定先へ振り込むこと。

<振込先> 三井住友銀行 小石川支店(813) 普通428679 (一社)全日本学生柔道連盟 会長 沖永 佳史

(5) 選手変更

女子5人制においては、6月17日(金)午後5時までに、必要書類を添えて主管事務局までメールにて提出した選手

8. 各地区出場枠

9. 選手計量

10. 表彰

11. 優秀選手選考委員

12. 審判員

13. 参加申し込み

の変更を認める。但し、階級間の移動は認められない。

※必要書類とは、変更用紙、変更前選手の辞退理由書(怪我・病気の場合は診断書も添付)と変更選手の在学証明書(1年生のみ提出)、健康診断書、IDカード用写真とする。

14. 組み合わせ

本大会組み合わせ抽選会は、(一社)全日本学生柔道連盟役員立ち合いのもと、東京学生柔道連盟により行う。

日時:2022年6月11日(土) 時間:午前10時00分~

会場:オンライン

シード校:シード基準は別紙による

その他:抽選会をオンライン配信する。

15. 審判員会議

日時:2022年6月23日(木) 時間:18時~

会場:オンライン

16. 審判員集合

日時:2022年6月25日(土) 詳細は審判会議にて説明

17. 監督会議

日時:2022年6月23日(木) 時間19時~

会場:オンライン

※監督会議では、大会上の注意事項について伝達を行うため、申し込み時に登録した監督1名が出席すること。監督会議資料は事前にデータで配布をするため、必ず大会当日に持参すること。上記の者が出席できない場合は、委任状を提出すること。

(学生に対する委任は不可)なお、無断欠席した場合は大会への出場が認められないことがあるので注意すること。また、参加人数は各大学1名とする。

18. 安全対策

本大会主催者は、大会出場選手に対する傷害保険に必ず加入するとともに、救急指定病院の手配を行う。

また、試合場に医師を配置し、必要に応じて応急処置を施すが、それ以上の責任は負わない。

なお、大会当日、出場選手は必ず保険証を持参すること。(コピーの保険証は不可)

19. 練習会場

今大会の前日練習会場についてはコロナウイルス感染対策の観点から設置しない。

20. 大会事務局

主催事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館内 (一社)全日本学生柔道連盟

TEL 03-3818-1587 FAX 03-3818-1960

主管事務局 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-30 講道館2階 全日本学生柔道連盟内 東京学生柔道連盟

TEL 03-6240-0048 FAX 03-3818-1960

※質問・問い合わせ等は、すべて主管事務局である東京学生柔道連盟に行うこと。

21. その他

(1) 健康診断書の提出について

健康診断を提出できない大学・選手は健康診断書代替書を提出すること。

なお、持病や既往症がある出場選手は学校医やかかりつけ医等からの出場許可を得ること。

(2) 脳振盪の対応について

選手及び指導者は下記事項を遵守すること。

①大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。

②大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。なお、至急、専門医(脳神経外科)の精査を受けること。

③練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。

④当該選手の指導者は大会事務局及び全日本柔道連盟に対し、書面により事故報告書を提出すること。

(3) 皮膚真菌症について

皮膚真菌症(トングランス感染症)については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。

感染が疑わしい、もしくは感染が認められた選手については、迅速に医療機関において的確な治療を行うこと。

選手に皮膚真菌症の感染が認められた場合は、その選手の本大会への出場を禁止する。但し、2週間以内の治療証明書がある場合は、出場を認める。

(4) 個人情報取り扱いについて

①WEBでの申し込みに記載された個人情報、大会中に撮影された写真、または動画が、大会プログラム、大会ホームページ等に掲載される場合がある。また、その他の報道機関等により、新聞、雑誌、テレビ及び関連ホームページ等に公開される場合がある。

②提出された個人情報については、上記の利用目的以外に使用することはない。

③WEBでの申し込みをもって、上記(4)の①、②の取り扱いに関する承諾を得たものとして対応をする。

※個人情報取り扱いについて不明な点等がある場合は、(一社)全日本学生柔道連盟事務局にお問い合わせのこと。

(5) 新型コロナウイルス(COVID-19)感染拡大防止対策については別途資料に従うこと。